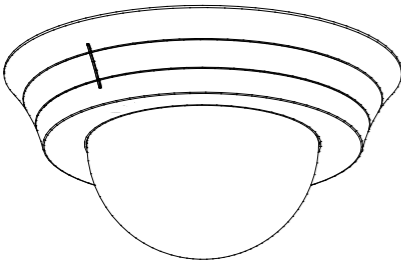


# MITSUBISHI

## ドーム型カラーカメラ 形名 CIT-8600M

### 取扱説明書 / 保証書



このたびは三菱カラーカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前に、正しく安全にお使い頂くため、この取扱説明書を必ずお読みください。  
そのあと大切に保管し、必要なお読みください。  
保証書は、この取扱説明書についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

U8712197001D 2010年 7月作成  
SM-Y7996D この取扱説明書は再生紙を使用しております。

©2010 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED

この製品は厳密な品質管理のもとで製品検査に合格したものです。お客様の正常な使用状態において万一故障した場合には、保証規定に基づきサービスセンターが修理いたしますので本書を提示してください。  
本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。  
保証書にご記入いただいた個人情報、保証期間内のサービスマニュアル及びその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

**三菱電機株式会社**  
コミュニケーション・ネットワーク製作所  
郡山工場 TEL(024)932-1220(大代表)  
〒963-8586 福島県郡山市栄町2番25号

|      |           |      |   |     |          |             |
|------|-----------|------|---|-----|----------|-------------|
| 形名   | CIT-8600M | 製造番号 | 様 | TEL | 販売店住所・店名 | 印<br>封<br>タ |
|      | お客様       |      |   |     |          |             |
| 保証期間 | 保証期間      |      |   |     |          |             |

お問い合わせは、保証書に記載の販売店へどうぞ

## 1. 安全のために必ずお守りください

### 使用上のご注意説明書

本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

|  |      |  |       |
|--|------|--|-------|
|  | 禁止   |  | 指示を守る |
|  | 分解禁止 |  | 電源を抜く |

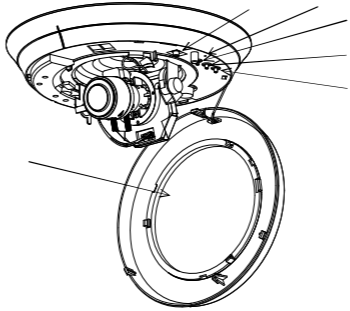
|   |   |
|---|---|
| <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの   |   |
| <b>万一異常が発生したら、電源ユニットの電源をすぐ切る！</b><br>映像が出ない、煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使わないでください。火災の原因となります。<br>このようなときはすぐにカメラコントローラなど(電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ)の電源スイッチを切り、その後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理のご依頼してください。 | <b>異物をいれない</b><br>金属類や燃えやすいものが入ると火災の原因となります。<br>万一異物が入ったときは、すぐにカメラコントローラなど(電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ)の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡してください。 |
| <b>質量に耐える場所に取付ける</b><br>弱い壁面、天井などに取付けないこと。取付け部が劣化して、落下などによるけがの原因になります。十分な強度に補強してから取り付けてください。<br>取付けは販売店又は、販売店指定店にご依頼ください。   | <b>指定の電源ユニットを使用する</b><br>指定のカメラコントローラなど(電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ)以外で使用すると、火災の原因となります。詳しくは本機の取扱説明書をご覧ください。                                     |
| <b>分解しない、改造しない</b><br>本機の内部にさわったり、改造すると火災の原因となります。<br>内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。  | <b>可燃性雰囲気の中で使用しない</b><br>爆発し、火災、ケガの原因になります。   |

|   |  |
|---|--|
| <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの   |  |
| <b>次のような置きかたはしない</b><br>火災・感電の原因となることがあります。<br>湿気やほこりの多い所、水、油煙のかかる所。<br>風通しの悪い所、狭い場所に押し込む、じゅうたんや布団の上に置く、布などをかける、熱器具のそば。   | <b>重い物をのせない、無理な力を加えない</b><br>本機の上に重い物を置かないこと、置くバランスがずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。<br>本機に無理な力を加えないでください。無理な力を加えると壊れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。 |
| <b>同軸ケーブルを傷つけない、加工しない</b><br>重い物をのせたり、熱器具に近づけないこと、ケーブルが破損します。<br>ケーブルに傷がついたまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。<br>ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災・感電の原因となることがあります。<br>ケーブルが傷んだらすぐ販売店にご連絡ください。 | <b>移動させる場合は外部の接続線ははずす</b><br>同軸ケーブルに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。<br>移動させる時は同軸ケーブル、機器の接続をはずしたことを確認してください。  |
| <b>定期的にお掃除を</b><br>販売店におまかせください。定期的な掃除は火災・故障を防ぎます。<br>特に梅雨期の前に行うのが効果的です。<br>内部掃除費用については販売店にご相談ください。   | <b>長期間ご使用にならないときは</b><br>安全のため、必ずカメラコントローラ(電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど)の電源プラグをコンセントから抜いてください。   |
| <b>国外での使用禁止</b><br>本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では使えません。<br>This equipment is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.                                    | <b>車載用機器ではありません</b><br>衝撃、振動のある所に設置すると故障の原因となります。<br>例)車庫、船舶、航空機、機関室、工事用機械など。  |

### ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。  
本書に記載した内容は、商品性や特定の目的に対する適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。  
本書の内容は、著作権によって保護されています。本書の一部または全部を書面により事前の許可なくして複製、転載、翻訳することは禁止されています。

## 4. 各部の名称



カメラ本体(ドームカバーを外した状態)

### ドームカバー

カメラを保護するカバーです。

### モニタ出力(MONITOR)

画角調節、レンズのフォーカス調節時に使用します。映像にノイズ等発生する場合がありますためその他の用途には使用しないでください。

### モードスイッチ(MODE)

カメラの設定項目を選択、決定するスイッチです。

### アップスイッチ(UP)

設定項目の選択、及び設定値をH方向(右方向、番号の増加方向)に設定するスイッチです。

### ダウンスイッチ(DOWN)

設定項目の選択、及び設定値をL方向(左方向、番号の減少方向)に設定するスイッチです。

### 電源LED(LED確認用穴位置)

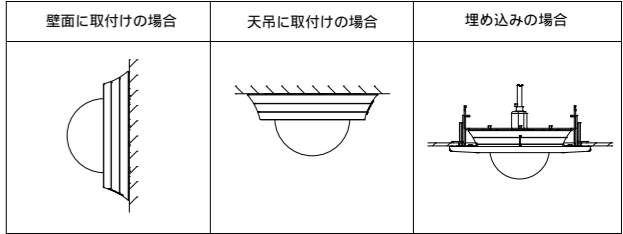
電源ON時に、赤色点灯する。(電源OFF時は、消灯)

## お願い

|   |  |
|---|--|
| <b>持ち運びはていねいに</b><br>本機は落下すると破損する可能性があります。持ち運びは十分に注意して行ってください。  | <b>本体のお手入れは</b><br>お手入れの際はカメラコントローラなどの電源プラグをコンセントから抜いて電源を切ってください。やわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよしぼり、拭いてください。   |
| <b>ケースを傷めないために</b><br>ベンジンやシンナーなどで拭くや変質したり、塗料がはげる原因となります。<br>[化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。]  | <b>使用温度・湿度範囲でご使用を</b><br>本機の使用周囲温度は-10 ~ +40、湿度は80%RH以下(結露しない場所)です。使用周囲温度・湿度範囲以外でご使用になると故障の原因となることがあります。特に調理室やボイラー室など温度や湿度の高い場所での使用は、性能を低下させますので、離れた位置でご使用ください。                |
| <b>カメラを太陽に向けないで</b><br>カメラを使用しているとき、使用していないときにかかわらずカメラを太陽に向けないでください。  | <b>強い光を映さないで</b><br>映した映像の一部にスポット光のような強い光があるとスミア(縦縞)やブルーミングを生じることがありますので避けてください。<br>強い光により画面にスミア(縦縞)やブルーミングが生じますが故障ではありません。  |
| <b>ケーブルは最大延長距離以内で</b><br>カメラとカメラコントローラなど(電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ)の間は50-2Vで最長500m以内で接続してください。500mを超えて接続しますと、電源の供給及び同軸ワンプラインを通じての制御(電源ユニットは除く)が行えなくなります。<br>カメラとカメラコントローラの間には、他の機器を接続しないでください。通信ができなくなります。 | <b>レンズ、ドームカバー及びガラス面のお手入れ</b><br>ほこりや汚れが付着した場合は、レンズクリーナーやエチルアルコールなどを用いて表面にキズが付かないように拭き取ってください。  |
| <b>カメラケーブルの配線</b><br>カメラケーブルの配線の際に電線やテレビのアンテナ配線に近づけて引き回したり、インターホーンやモニタの近くにある場合、映像やインターホーンに雑音が入る場合があります。その時は配線や位置を変えてください。   | <b>強い電界、磁界の近くでお使いになるとき</b><br>テレビやラジオの送信アンテナ、モータやトランスなどの強い電界、磁界の近くでお使いになると、雑音が入ったり映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、カメラケーブルに薄銅電線管を設けて通電してください。<br>2系統以上のシステム構成のときは、システム毎に電線管を設けてください。 |

## 5. 据付場所の選定

- カメラは据付場所によりいろいろな据付方向が選択できますので、設置前に十分検討の上、最適な場所を選定してください。据付場所により、下図のような取付けが可能です。

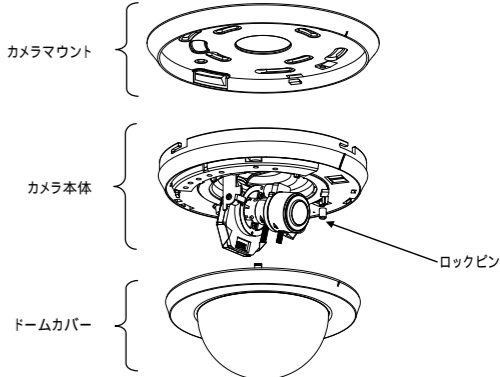


注)据え置き取り付けはできません。

- 本機は十分な強度をもった場所に取付けてください。取付強度が不足していると、モニタ上で映像がブレたり、最悪の場合落下の危険があります。また、エアコン等振動の発生する機器の近くに設置しますと、映像がブレる場合がありますので振動の発生する機器の近くに設置しないでください。

## 6. 設置の前に

- カメラを設置する前に、以下の手順で作業を行ってください。
  - ドームカバーを反時計方向に回して取り外します。
  - ロックピンを引きながらカメラ本体を反時計方向に回し、カメラマウントからカメラ本体を外します。  
注)F型コネクタ付き映像出力ケーブルは、カメラ本体側に固定されているため、カメラマウント中央部の穴を通して、引き抜いてください。

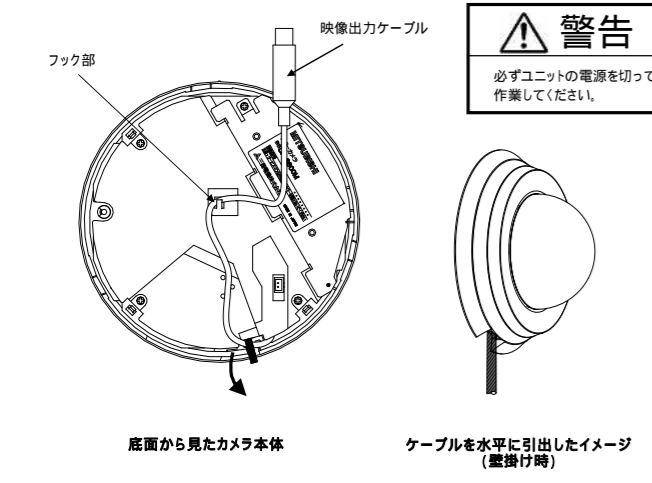


## 7. 設置方法

### ケーブルを水平に引き出す場合

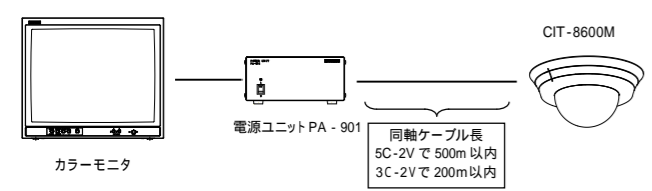


- 引き出し手順**
- カメラマウントのノックアウト部両端にニッパー等で切り込みを入れ、折って斜線部分を切り取ります。(上図右参照)
  - カメラ本体側に接続されているケーブルをフック部から外し、下図の矢印方向へケーブルを引き出します。



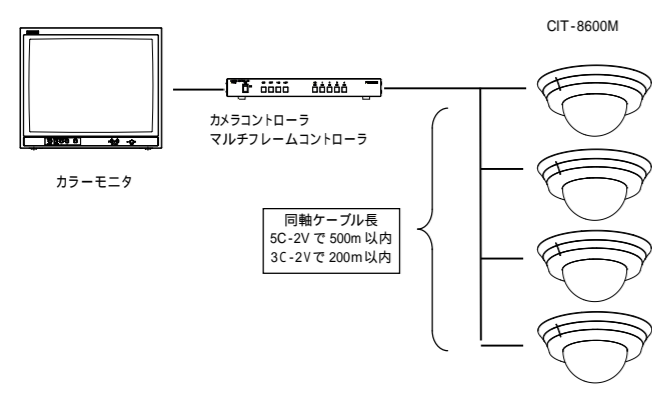
## 9. 接続のしかた

### 【カメラ1台を接続する場合】



- カメラと電源ユニット間は5C-2V(3C-2V)で500m(200m)以内で、接続してください。最大ケーブル長を超えて接続しますと、電源の供給等が行えなくなります。
- カメラと電源ユニット間には、他の機器を接続しないでください。通信ができなくなる恐れがあります。

### 【カメラ4台を接続する場合】

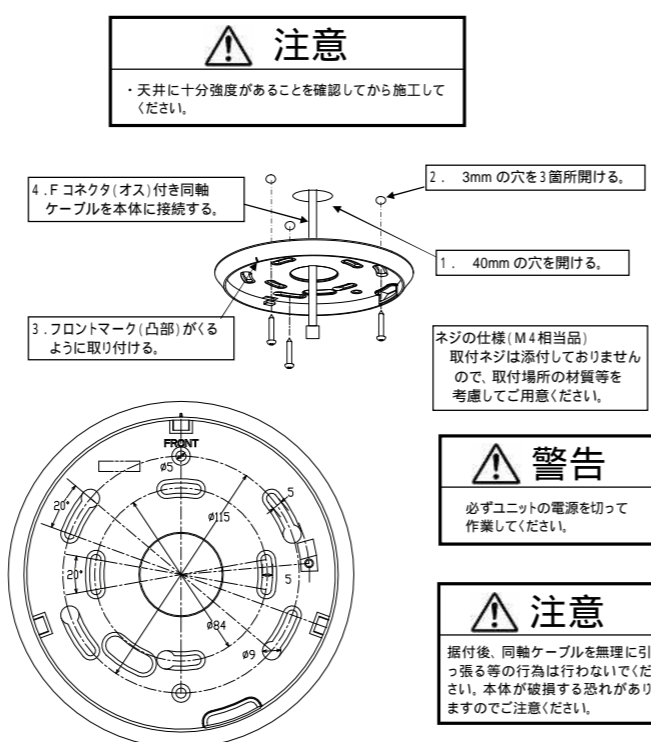


- カメラと電源ユニット間は5C-2V(3C-2V)で500m(200m)以内で、接続してください。最大ケーブル長を超えて接続しますと、電源の供給、同軸ワイドラインを通じての制御等が行えなくなります。
- カメラとカメラコントローラなど(コントローラ、マルチフレームコントローラ)の間には、他の機器を接続しないでください。通信ができなくなる恐れがあります。

詳しくは、10項に記載の各カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ、電源ユニットの取扱説明書をご覧ください。

## 7. 設置方法

- カメラを取り付ける場所に、40のケーブル引き込み用の穴を開けます。(同軸ケーブルをカメラ本体側面から接続する場合は、穴を開ける必要はありません)
- カメラを取り付ける場所に3のカメラマウント取付用の穴を3箇所開けます。  
注)穴を開ける時、どれか1つの穴がカメラを向けたい方向(センター)になるように開けてください。
- カメラマウントをネジ3個で壁または天井に取付けます。  
注)カメラを向けたい方向(センター)にフロントマークがくるように取付けます。
- 壁、または天井からのF型コネクタ(オス)付き同軸ケーブルをカメラ本体のF型コネクタ(メス)付き映像出力ケーブルに接続します。



## 10. オプション

| No. | 機種名/型名                  | 最大カメラ接続台数 | 取扱説明書番号  |
|-----|-------------------------|-----------|----------|
| 1   | カメラコントローラ / S-9520SA    | 4         | SM-Y7708 |
| 2   | マルチフレームコントローラ / X-9620S | 4         | SM-Y7659 |
| 3   | 電源ユニット / PA-901         | 1         | SM-Y7350 |
| 4   | 電源ユニット / PA-904         | 4         | SM-Y7960 |
| 5   | 電源ユニット / PA-908         | 8         | SM-Y7637 |

- 適合オプション  
天井埋め込みユニット :K-9870  
クリアドーム :K-9860

## 11. フリッカ補正機能について

フリッカ(ちらつき)は蛍光灯のような放電灯照明下で発生します。自然光下や白熱照明下では発生しません。フリッカの現象は電源周波数とシャッター速度により下記のように異なります。

- 60Hz電源地区での場合
  - 1/60sシャッター  
電源周波数とCCDの電荷蓄積時間がほぼ一致しており、フリッカは発生しません。
  - 高速シャッターの場合  
ゆっくりとした輝度変化が発生します。シャッター速度が速くなるほど輝度変化の割合は大きくなります。
- 50Hz電源地区での場合
  - 1/60sシャッター  
約20Hz周期のフリッカが発生します。FLICKER設定をONにすることで補正することができます。
  - 1/100sシャッター  
フリッカは発生しません。1/60sシャッターに比較して約半分感度が低下しますので低照度時にはご注意ください。
  - 1/250s以上の高速シャッター  
かなり激しいフリッカが発生します。高速シャッターが必要な場合には自然光または白熱点灯照明をご使用ください。

## 12. 逆光補正機能について

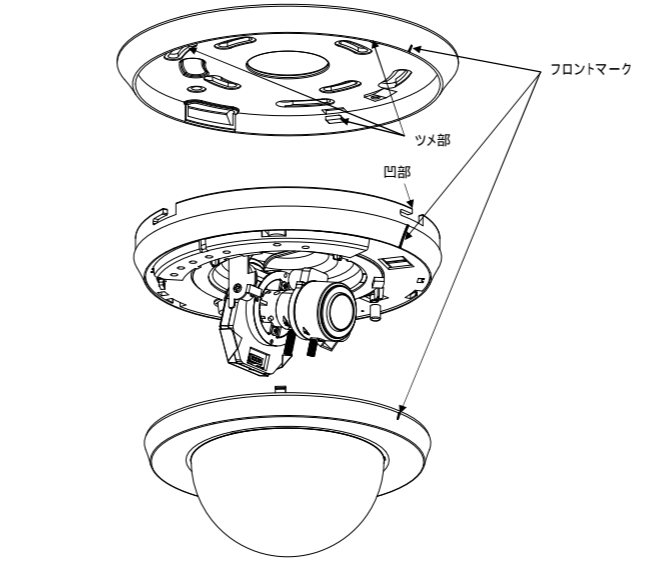
逆光補正用の測光枠は画面上の15(水平)×15(垂直)に分割した枠の中でエリアを設定することができます。設定メニュー「WIDTH」では測光枠の右下角を移動して大きさを、「LOCATE」では測光枠の左上角を移動して測光枠の位置を設定します。設定項目「WIDTH」、「LOCATE」設定中は、設定値の増減と運動して設定エリアが明るく表示されます。

## 13. マスキングについて

- マスキング機能とは、画面上で表示を隠したいエリアをグレー表示することで、画面のマスキングを行う機能です。監視画面にプライバシーや機密に関するものが映ってしまうような場合、本機能を使って画面をマスキングすることでプライバシーや機密を守ることができます。
- マスキング表示は、画面上の40(水平)×30(垂直)に分割した枠の中でエリアを設定することができます。設定メニュー「WIDTH」ではマスキングの右下角を移動して大きさを、「LOCATE」ではマスキングの左上角を移動して位置を設定します。
- マスキング表示は、最大3箇所まで表示することができます。それぞれのマスキングは独立して設定可能で、重ねて表示を行うことも可能です。1つのマスキング形状は四角ですが、重ねて表示することで様々な形を設定することが出来ます。

## 8. レンズの調整方法

- カメラマウントのツメ部(3ヶ所)とカメラ本体の凹部を合わせ、本体を時計方向に回します。時計方向に回して、正しくカメラマウントとカメラ本体が嵌合したときにロックピンが下りて音がします。



- レンズの向きを調節する場合、レンズ部全体で左右方向(±175°)を、レンズ角度調節つまみで上下方向(0°(真下)~+70°)を合わせます。

## 14. CCDの傷について

- CCDは宇宙線の影響により、まれに白傷が発生することが報告されています。定量的データはまだありませんが、高度の高い地点での設置、航空機によるCCD(セット含む)輸送により発生頻度が高くなる事が確認されておりますので極力航空機による製品輸送は避けてください。
- 現時点でこれを防ぐ有効な手段はありません。本機はS/Wによる白傷補正を行っており、従来機種に比べ、白傷は改善されておりますが、細かな傷等が残る場合があります。白傷により運用上の弊害が発生した場合はCCD交換を推奨いたします。(有料)

## 15. お手入れのしかた

- 電源を切ってからお手入れをしてください。
- 汚れがひどいときは、水で十分すすめた中性洗剤で拭いてください。
- 腐食防止のため、外装の定期的な(1年又は2年に1回)洗浄をお願いします。

## 16. 故障かな?と思ったら

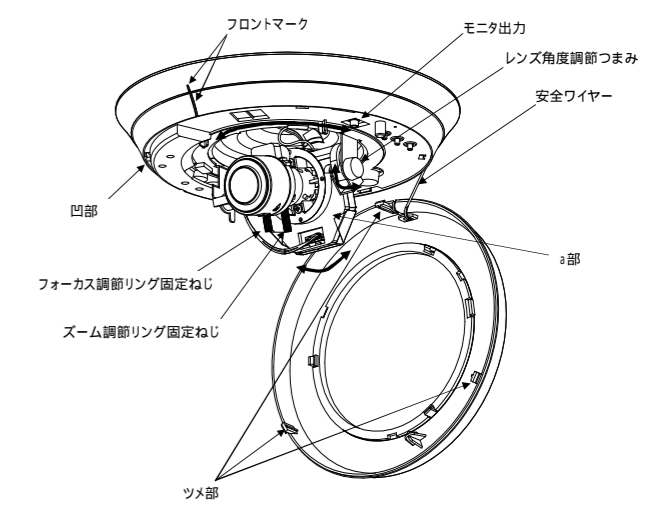
- 下記の点をもう一度お確かめください。お確かめの結果、なお異常のある場合は、機種名、接続構成、現象および発生時の状況を記録し、電源を切ってからサービスをお申し付けください。
- 各ユニットの電源プラグがはずれていませんか?
- 同軸ケーブルは正しく接続されていますか?
- モニタの電源スイッチはONになっていますか?

## 17. 保証とアフターサービス

- 本保証書は、販売店が所定事項を記入後お渡ししますので、お受け取りの際は「保証期間」、「販売会社」をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証規定
  - 保証期間内(お買上げ日より1年間)に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
  - 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。  
ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。  
火災、地震、水害、雷害、異常電圧、指定外の使用電源、及びその他天災地変などによる故障及び損傷。  
特殊環境(たとえば極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など)による故障及び損傷。  
本書のご提示がない場合。  
本書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。  
本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN)
- 補修用性能部品の保有期間  
補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後7年です。(性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品です。)詳しくはお求めの販売店にご相談ください。

## 3. 光軸を調整する場合、a部を回転させます。(±90°)

- 画角の調節  
ズーム調節リング固定ネジを反時計方向に回してゆるめず、ズーム調節リングを「T(TELE)」方向に回すと望遠となり、画角が狭くなります。「W(WIDE)」方向に回すと広角となり、画角が広がります。調節後、ズーム調節リング固定ネジを時計方向に回して固定します。
- フォーカスの調節  
フォーカス調節リング固定ネジを反時計方向に回してゆるめず、フォーカス調節リングを「N(NEAR)」方向に回すと近方で焦点が合い、「F(FAR)」方向で遠方で焦点が合います。調節後、フォーカス調節リング固定ネジを時計方向に回して固定します。ドームカバーのツメ部(3箇所)とカメラ本体の凹部を合わせ、ドームカバーを時計方向に回します。  
注1)一度画角・フォーカスを調節した後、再度画角の調節を行うとフォーカスがずれるため、フォーカスの再調節を行ってください。  
注2)画角・フォーカス調節時、レンズ全体に過度な負荷をかけないでください。バックフォーカスがずれてフォーカスが合わなくなります。  
注3)レンズの向き、光軸、画角・フォーカスの調整時a部が熱くなっていますのでご注意ください。  
注4)カメラマウント、カメラ本体、ドームカバーのフロントマークが合うように取り付けてください。



MONITOR(モニタ出力)には、2極、2.5ミニチュアジャック(JIS C 6560-1979)を使用してください。(ミニチュアジャックは付属していませんので、ご注意ください。)

## 18. 仕様

|                |   |
|----------------|---|
| 撮像素子           | 1/3型 CCD、インターライン転送方式  |
| 有効画素数          | 768(H)×494(V)、有効38万画素   |
| 走査方式           | 2:1インターレース  |
| 走査周波数          | 水平 15.734 kHz、垂直 59.94 Hz   |
| 同期方式           | 内部同期 / 外部同期   |
| 映像出力           | 外部同期信号は映像出力端子より出力、カメラコントローラ相当品より供給<br>VBS : 1.0Vp-p / 75 (F型コネクタ(メス)接続)<br>(ローカルモニタ出力、2.5ミニチュアジャック)   |
| 解像度            | 標準時 水平 : 480本以上、垂直 : 350本以上<br>電子増感時 水平 : 460本以上、垂直 : 260本以上  |
| S/N            | 50dB以上 (AGC OFF時)   |
| ダイナミックレンジ      | SFV機能あり   |
| SFV画質調整機能      | 高速側電子シャッター-AUTO / MANU 設定<br>高速側電子シャッター-AUTO時 : 高速側シャッター-映像レベル設定<br>高速側シャッター-MAX 速度設定<br>高速側電子シャッター-MANU時 : 高速側シャッター-速度設定                   |
| 電子ズーム          | 2倍  |
| 電子シャッター        | 1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000秒  |
| 電子増感           | 標準感度の2、4、6、8、10、12、14、16倍   |
| 自動電子増感機能       | 自動/手動切替   |
| ドームカバー         | スモークカバー装着   |
| 最低被写体照度        | [スモークカバー装着時(工場出荷状態)]<br>1.19 lx (F1.2、1/60秒)、0.08 lx (F1.2、電子増感16倍時)<br>[オプション設定のクリアカバー装着時]<br>0.60 lx (F1.2、1/60秒)、0.04 lx (F1.2、電子増感16倍時) |
| 最大伝送距離         | 500m(カメラコントローラ相当品間、同軸ケーブル5C-2V使用時)  |
| 使用温度、湿度        | -10 ~ +40、80%RH以下(但し、結露しないこと)   |
| 保管温度           | -20 ~ +60   |
| 冷却方式           | 自然空冷  |
| 電源             | VP多重(カメラコントローラ相当品より供給、カメラ入力電圧19.0±1.5V)   |
| パンチルト調整範囲      | パン(水平) ±175°、チルト(垂直) 0°(真下) ~ +70°、レンズ回転 ±90°   |
| 使用レンズ          | 約3.6倍 パリフォーカルレンズ(専用品)<br>焦点距離 f = 2.8mm ~ 10.0mm<br>最大口径径 1:1.2<br>絞り範囲 F1.2 ~ 360<br>画角範囲 水平 : 100.8° ~ 28.5°<br>垂直 : 73.5° ~ 21.4°        |
| アイリス駆動方式       | DC駆動  |
| フリッカ補正機能       | 有り  |
| 画像ローチーゼンリモコン機能 | 有り<br>カメラコントローラなどにより各種機能設定可能(映像出力ケーブルに多重)、制御信号のインターフェイス概要、フレーム構成はワイドライン仕様による、H位相 24段階   |
| 外部同期位相調整       | 有り(エリア選択式)  |
| 逆光補正機能         | 有り(エリア選択式)  |
| ピーク測光機能        | 有り  |
| グラデーション機能      | ガンマ、ニー、セットアップ、ホワイトクリップの設定可能。  |
| カメラID表示        | カナ、英数字、記号12桁、表示位置を6箇所から選択可能。  |
| マスキング機能        | 有り(最大3箇所)   |
| ホワイトバランス       | 自動 / 手動 / ロック   |
| エリア選択式AWB      | 有り  |
| イーゼーション        | 有り  |
| フィッティング機能      | 有り  |
| ローカルモニタ出力      | 有り  |
| 構造             | IP30 (JIS C 0920 屋内型)、天井または壁掛   |
| 質量             | 410g以下  |
| 外観色            | マンセル8.63GY 8.76/0.24相当(オフホワイト)  |
| 外観寸法           | 168×80.6(H) (ドームカバー含む)  |

## 19. カメラの設定

### カメラ設定例

カメラ機能の設定例を「スーパーファインビュー」機能を例に説明します。

#### 「スーパーファインビュー」の設定



手順 1: 「MODE」スイッチを押しメニューを表示させます。  
 手順 2: 「UP」, 「DOWN」スイッチで「**2**」選択マークを移動し「**2**」Y CONTROLを選択します。  
 手順 3: 「MODE」スイッチを押し確認します。  
 手順 4: 「Y CONTROL」画面が表示されます。

手順 5: 「UP」, 「DOWN」スイッチで「**▶**」選択マークを移動させ「IRIS SEL」を選択します。  
 手順 6: 「UP」, 「DOWN」スイッチで「SFV」を選ぶと、下図のように「SET」が表示されます。



手順 7: 「UP」, 「DOWN」スイッチで「**▶**」選択マークを移動させ「SET」を選択します。  
 手順 8: 「MODE」スイッチを押し確認します。  
 手順 9: 「SFV SELECT」設定画面が表示されますので、必要項目の設定を行います。

「SSHT SEL」メニュー  
 高速側シャッター速度を選択します。  
 「SSHT LEVEL」メニュー  
 「SSHT SEL」設定が「AUTO」のときの、高速側シャッターによる映像の明るさを設定します。  
 「MAX SSHT」メニュー  
 「SSHT SEL」設定が「AUTO」のときの、高速側シャッターによる映像の明るさを設定します。  
**スーパーファインビューとは**  
 スーパーファインビューとは、感度の高い低速シャッターによる撮影と感度の低い高速シャッターによる撮影を同時に行い、映像の暗い部分を感度の高い低速シャッターで得られた映像、映像の明るい部分を感度の低い高速シャッターで得られた映像に画面合成することで、明るい部分と暗い部分の撮影を同時に可能としている機能です。  
 スーパーファインビュー時の低速側シャッター速度は、1/60sもしくは1/100sのいずれかになります。高速側シャッター速度は、「SSHT SEL」メニューにて設定可能です。

### カメラ設定項目 ( [ ] 内は、工場設定値を表します。 )

#### 1. SYSTEMメニュー

H SYNC : 水平同期調整  
 E ZOOM : 電子ズームの設定 [ON]  
 ROTATE : 画像回転機能の設定 [OFF]  
 ID DISP : カラ ID 表示の選択 [OFF]  
 ID : カラ ID 表示の設定  
 GAIN : 電子増倍率表示の設定  
 ID&GAIN : カラ ID 表示及び電子増倍率表示の設定  
 ID SET : カラの設定 [0000000000]  
 ID PLACE : カラ ID 表示位置の設定 [中央下 ]  
 GAIN PLACE : 電子増倍率表示位置の設定 [右下 ]  
 MIC : マイクの選択 [OFF]

#### 2. Y CONTROLメニュー

IRIS SEL : アリスモードの選択 [NORMAL]  
 SPOT : 逆光補正の設定  
 WINDOW : 測光枠のサイズ、位置設定  
 WIDTH H : 水平方向の測光枠サイズ設定 [8]  
 WIDTH V : 垂直方向の測光枠サイズ設定 [8]  
 LOCATE H : 水平方向の測光枠位置設定 [4]  
 LOCATE V : 垂直方向の測光枠位置設定 [4]  
 SFV SET : スーパーファインビュー機能の設定  
 SFV SEL : スーパーファインビュー機能 [AUTO]  
 SSHT SEL : 高速シャッター速度の設定

SSHT LEVEL : スーパーファインビュー機能 [-17(左端から 3)]  
 MAX SSHT : 高速シャッターレベルの設定  
 PEAK : スーパーファインビュー機能 [1/8000]  
 MAX SSHT : 最大シャッター速度の設定  
 PEAK SET : ピーク測光モードの設定  
 PEAK REV : ピーク測光モード詳細設定の選択  
 BRIGHT REV : ピーク測光モード 高輝度出力レベルの設定 [1]

DARK REV : ピーク測光モード 暗部出力レベル補正の設定 [8]  
 GAIN REV : ゲインコントロールの選択 [AGC]  
 MGC : MGCの選択  
 MGC SET : MGCの設定  
 SHUTTER : MGC時電子増倍率又はシャッター速度の設定 [1/60]

MGC LEVEL : MGCレベルの設定 [0]  
 IRIS LEVEL : アリスの設定 [0]  
 DNR : MGC時デジタルノイズリダクションの選択 [AUTO/1]  
 AGC : AGCの選択  
 AGC SET : AGCの詳細設定の選択  
 SHUTTER : AGC時電子増倍率又はシャッター速度の選択 [AUTO]

AUTO : 自動電子シャッターの設定  
 AUTO SET : 自動電子シャッター詳細設定の選択  
 MAX GAIN : AGC最大増倍率の設定 [x16]  
 x1 SLOW : 電子増倍1倍時シャッター速度の設定 [1/60]  
 AGC LEVEL : 電子増倍切替レベルの設定 [0]  
 MAX AGC : AGC最大ゲインレベルの設定 [+12(表示右端)]  
 AGC BOOST : AGCレベルアップの選択 [OFF]  
 DNR : AGC時デジタルノイズリダクションの選択 [AUTO/1]

GRADATION : 映像信号の選択 [NORMAL]  
 USER : ユーザーによる映像信号設定の選択  
 USER SET : ユーザーによる映像信号詳細設定の選択  
 GAMMA : ガンマの設定 [3]  
 KNEE : コーの設定 [1(表示右端)]  
 W-CLIP : ホワイトクリップの設定 [1(左端から 1)]  
 SET UP : セットアップレベルの設定 [12(右端から 1)]  
 FLICKER : フリッカ補正機能の選択 [OFF]  
 DETAIL : 画質の調整 [17(右端から 4)]

#### 3. COLORメニュー

WB SEL : ホワイトバランスモードの選択 [AUTO]  
 AUTO : オートホワイトバランス設定の選択  
 AUTO WB SET : オートホワイトバランス詳細設定項目の選択  
 LIGHT : 対照照明の選択 [ELECTRIC]  
 AWB AREA : スポットAWBの選択 [NORMAL]  
 SPOT : スポットAWBの設定  
 WINDOW : スポットAWB枠のサイズ、位置設定  
 WIDTH H : 水平方向のスポットAWB枠サイズ設定 [8]  
 WIDTH V : 垂直方向のスポットAWB枠サイズ設定 [8]  
 LOCATE H : 水平方向のスポットAWB枠位置設定 [4]  
 LOCATE V : 垂直方向のスポットAWB枠位置設定 [4]

AWB R-Y : 赤、シアン方向のオートホワイトバランス調整 [0]  
 AWB B-Y : 青、黄方向のオートホワイトバランス調整 [0]  
 HUE R-Y : 赤、シアン方向の色相の設定 [+12]  
 HUE B-Y : 青、黄方向の色相の設定 [+12]  
 MANU : マニュアルホワイトバランス設定の選択  
 MANU WB SET : マニュアルホワイトバランス詳細設定項目の選択  
 MWB R-Y : 赤、黄方向のマニュアルホワイトバランス設定 [0(表示中央)]  
 MWB B-Y : 青、黄方向のマニュアルホワイト

バランス設定 [0(表示中央)]  
 HUE R-Y : 赤、シアン方向の色相の設定 [+12]  
 HUE B-Y : 青、黄方向の色相の設定 [+12]  
 AWB LOCK : ホワイトバランスロックの選択 [OFF]  
 C LEVEL : 濃度の設定 [+12]  
 SUPPRESS : クロマサブレンスの設定 [+12]

#### 4. SCENE FITメニュー

USER : ユーザー登録シーンの設定とID表示の選択  
 ID SET : ユーザー登録シーンのID設定 [USER]  
 M1 : マスキングM1の表示設定 [OFF]  
 M2 : マスキングM2の表示設定 [OFF]  
 M3 : マスキングM3の表示設定 [OFF]  
 ON : マスキングのON/OFF設定  
 M\* WINDOW : マスキング枠のサイズ、位置設定

M1 WINDOW : 水平方向のマスキング枠位置設定 [10]  
 WIDTH VM1 : 垂直方向のマスキング枠位置設定 [10]  
 LOCATE HM1 : 水平方向のマスキング枠位置設定 [8]  
 LOCATE VM1 : 垂直方向のマスキング枠位置設定 [4]  
 WIDTH HM2 : 水平方向のマスキング枠位置設定 [10]  
 WIDTH VM2 : 垂直方向のマスキング枠位置設定 [10]  
 LOCATE HM2 : 水平方向のマスキング枠位置設定 [24]  
 LOCATE VM2 : 垂直方向のマスキング枠位置設定 [11]  
 WIDTH HM3 : 水平方向のマスキング枠位置設定 [10]  
 WIDTH VM3 : 垂直方向のマスキング枠位置設定 [10]  
 LOCATE HM3 : 水平方向のマスキング枠位置設定 [8]  
 LOCATE VM3 : 垂直方向のマスキング枠位置設定 [18]

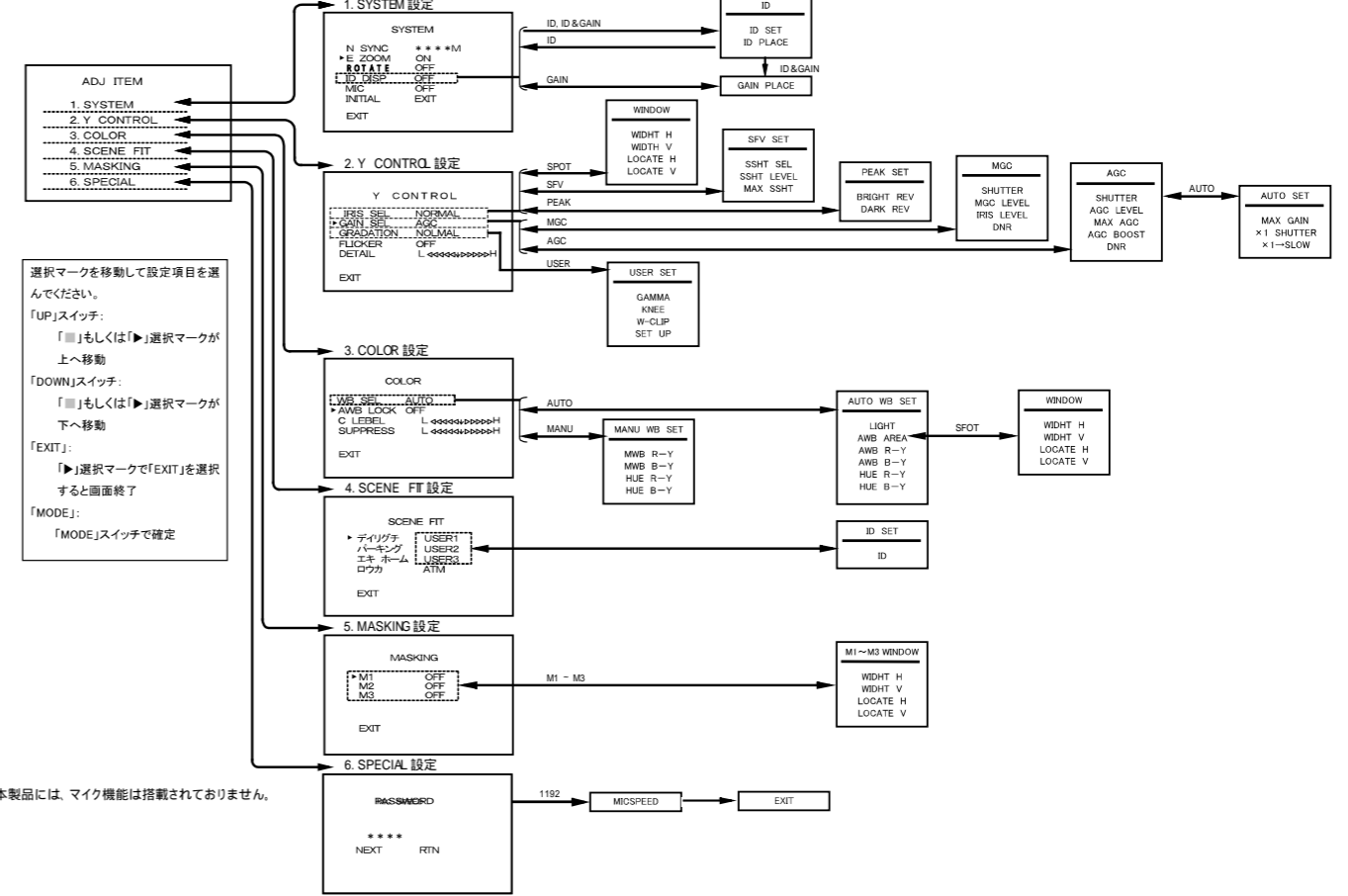
MASKING : マスキングの設定  
 M1 : マスキングM1の表示設定 [OFF]  
 M2 : マスキングM2の表示設定 [OFF]  
 M3 : マスキングM3の表示設定 [OFF]  
 ON : マスキングのON/OFF設定  
 M\* WINDOW : マスキング枠のサイズ、位置設定  
 M1 WINDOW : 水平方向のマスキング枠位置設定 [10]  
 WIDTH VM1 : 垂直方向のマスキング枠位置設定 [10]  
 LOCATE HM1 : 水平方向のマスキング枠位置設定 [8]  
 LOCATE VM1 : 垂直方向のマスキング枠位置設定 [4]  
 WIDTH HM2 : 水平方向のマスキング枠位置設定 [10]  
 WIDTH VM2 : 垂直方向のマスキング枠位置設定 [10]  
 LOCATE HM2 : 水平方向のマスキング枠位置設定 [24]  
 LOCATE VM2 : 垂直方向のマスキング枠位置設定 [11]  
 WIDTH HM3 : 水平方向のマスキング枠位置設定 [10]  
 WIDTH VM3 : 垂直方向のマスキング枠位置設定 [10]  
 LOCATE HM3 : 水平方向のマスキング枠位置設定 [8]  
 LOCATE VM3 : 垂直方向のマスキング枠位置設定 [18]

#### 6. SPECIALメニュー

PASSWARD : パスワード入力設定 [0000]  
 MICSPD : マイク速度の設定

注) 本製品には、マイク機能は搭載されておりません、MIC設定の表示はありますが、機能はしません。

### カメラ設定フロー



注) 本製品には、マイク機能は搭載されておりません。

## 20. 外形図

